

再評価時再評価結果(令和元年度)

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 山名 剛

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	三好市井川町吹	箇所名	吹すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(排水ボーリング工、水路工、アンカー工)				
事業の目的・必要性	吹地区では、平成16年12月の豪雨により民家裏で地すべりが発生し、民家の倒壊や県道が埋没する被害が発生した。周辺の民家にクラックが発生する等、地すべり拡大の恐れがあり、早急な対策を講じる必要があった。また、地すべり土塊が一級河川 井ノ内谷川を閉塞した場合、湛水及び氾濫被害が生じる恐れもあり、区域内における地域住民の人命や財産を守るため、平成17年度より地すべり対策事業に着手した。				
総事業費	1,000 百万円	進捗率	89%		

位置図 計画概要図

平面図

位置図

全景写真

H16被災状況

民家のクラック

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用	総便益
	令和元年度	2.8	15.3	1,605百万円 ¹⁾ 工事費・調査費 等	4,540百万円 ²⁾ 人家48戸、道路 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人家の保全 : 家屋被害等の軽減 ・ 道路の保全 : 道路被害、交通途絶被害の軽減 ・ 避難所の保全 : 地域の防災力向上 ・ 人命の保全 : 人身被害の軽減 				
ソフト対策	当地区の土砂災害警戒区域を公表しており、地すべりの危険性を周知している。				
社会経済情勢等の変化	地域の高齢化が進み、災害発生時には迅速な避難活動が困難であることから、区域全体の早急な対策工事の実施が必要な状況である。				
事業の進捗状況	全10ブロックで着手しており、内7ブロックは概成済みである。残るブロックについてもR2年度中に対策工を完了する予定であり、R3年度に地すべり運動の沈静化を確認して概成する見込みである。 令和元年度の進捗率は事業費ベースで89%である。				
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:2.6, 事業費-10%:3.1, 工期+10%:2.9, 工期-10%:2.7, 資産+10%:3.1, 資産-10%:2.6 残事業費+10%:14.4, 残事業費-10%:16.2, 残工期+10%:11.8, 残工期-10%:15.4, 残資産+10%:16.7, 残資産-10%:13.8				
事業進捗の見込み	令和3年度完了に向けて、事業進捗を図る。				
対応方針(案)	継続				
対応方針理由	地元からの要望も高く、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、費用対便益は2.8と事業の効果は高い。事業進捗も89%と事業完了が比較的近い。これらの状況を総合的に判断し、令和3年度の完成に向けて地すべり対策事業を継続する。